

コロナ禍における鉄道利用者へのサービス維持に関する要望

日頃から神奈川県鉄道輸送力増強促進会議の活動につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴社におかれましては、緊急事態宣言下においても感染症の拡大防止に努めながら運行を継続し、利用者へのサービス維持を図られたことにつきまして、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しはなく、コロナ禍で、不要不急の外出自粛や学校の休校、また、在宅勤務などテレワークが普及したことで、利用者は大幅に減少し、鉄道事業者は、収益面で深刻な影響を受け、経営面での改善を余儀なくされていることは承知しています。

しかしながら、鉄道は、社会経済を支えるインフラであるほか、基幹的な公共交通として通勤、通学の足となり、住民の暮らしを支える重要なインフラであります。

今後のウィズコロナ時代を見据え、鉄道事業者におかれましては、感染防止対策として、引き続き、3密対策や、車両や駅施設の消毒、従業員の健康確保など、感染防止対策に努めていただくとともに、貴社の安定的な経営を確保していく中で、運賃や運行計画などを見直す場合は、利用者サービスに十分ご配慮いただきますよう、お願いいたします。

令和2年12月

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議
会長 黒岩 祐治